

記入例 (法人)

指定給水装置工事事業者指定申請書

鹿嶋市水道事業
鹿嶋市長 錦織 孝一 殿

日付は提出日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

事業者名等は省略せず記入してください。

役員名記入してください。

代表者印

代表者印(丸印)

申請者	フリガナ	カブシカイシャ マルマルスイドウ
	氏名又は名称	株式会社 〇〇水道
	住所	茨城県鹿嶋市〇〇1丁目2番〇号
	代表者氏名	代表取締役 水道 太郎
	電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	F A X	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

役員（業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者）の氏名	
フリガナ 氏名	フリガナ 氏名
代表取締役 スイドウ タロウ 水道 太郎	監査役 オノ サブロウ 大野 三郎
取締役 スイドウ ジロウ 水道 次郎	
取締役 カシマ ハナコ 鹿島 花子	
事業の範囲	給水装置工事業
機械器具の名称、性能及び数	

登記事項証明書に記載されている代表取締役から監査役までの役員全員
役員名 氏名 フリガナ を記入してください。

・管工事業
・給水装置工事業
・給排水設備工事業 等
又は、
・登記事項証明書のとおり

(備考) この用

※登記事項証明書の「目的」欄に、給水装置に関する事業を行う者であるということが、明確に確認できる項目のあることが必要です。

※表面の「申請者」と同じでも記入してください。

当該給水区域で給水装置工事の 事業を行う事業所の名称	株式会社 ○○水道
上記事業所の所在地	茨城県鹿嶋市○○1丁目2番3号
上記事業所で選任されることとなる 給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
水道 太郎	第 123456 号

「給水装置工事主任技術者免状」又は「給水装置工事主任技術者証」を参考に記入してください。
※様式第3「給水装置工事主任技術者選任・解任届出書」と同一となります。

上記以外にも事業を行いたい支店・営業所がある場合は記入してください。

当該給水区域で給水装置工事の 事業を行う事業所の名称	株式会社 ○○水道 大野支店
上記事業所の所在地	茨城県鹿嶋市○○456番地7
上記事業所で選任されることとなる 給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
鹿島 花子	第 112233 号

(備考)この用紙の大きさは、A列4番とすること。

誓約書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、水道法第25条の3第1項第3号イからへまでのいずれにも該当しない者であることを誓約します。

日付は提出日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

申請者

氏名又は名称 株式会社 〇〇水道

代表者印(丸印)

住所 茨城県鹿嶋市〇〇1丁目2番3号

代表者氏名 代表取締役 水道 太郎

代表者印

①水道法施行規則第二十条の二に規定する精神の機能の障害により給水装置工事の事業を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者

②破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者

③水道法に違反して刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者

④指定を取り消され、その取消の日から2年を経過しない者

⑤給水装置工事に関し、不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者

⑥法人であって、その役員のうちに上記のいずれかに該当する者があるもの

給水装置工事主任技術者選任・解任届出書

鹿嶋市水道事業

鹿嶋市長 錦織 孝一 殿

日付は提出日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

様式第1 表面の「申請者」と同一で記入してください。

届出者

代表者印(丸印)

氏名又は名称

株式会社 〇〇水道

住所

茨城県鹿嶋市〇〇1丁目2番〇号

代表者氏名

代表取締役 水道 太郎

代表者印

様式第1 裏面の支店・営業所等をご記入ください。複数ある場合は、それぞれの提出が必要となります。

選任
主任技術者の
解任

給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	株式会社 〇〇水道	
上記事業所で選任・解任する給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号	選任・解任の年月日
水道 太郎	第 1 2 3 4 5 6 号	令和〇年9月30日選任
①新規申請 日付は未記入 ②更新申請 現在選任されている主任技術者の <u>変更なし</u> 平成〇年〇月〇日 選任 【選任した日】 <u>変更あり</u> 令和〇年9月30日 選任		

〇鹿嶋市水道事業指定給水装置工事事業者規程 第12条

- 指定工事業者は、第4条第1項の指定を受けた日から14日以内に、事業所ごとに主任技術者を選任し、市長に届け出なければならない。
- 指定工事業者は、その選任した主任技術者が欠けるに至ったときは、当該事由が発生した日から14日以内に新たに主任技術者を選任し、市長に届け出なければならない。
- 指定工事業者は、主任技術者を選任又は解任したときは、施行規則に定められた様式第3による届出書により、遅滞なくその旨を市長に届け出なければならない。
- 指定工事業者は、主任技術者の選任を行うに当たっては、一の事業所の主任技術者が同時に他の事業所の主任技術者とならないようにしなければならない。ただし、一の主任技術者が当該2以上の事業所の主任技術者となってもその職務を行うに当たって特に支障がないときは、この限りではない。

別表（第18条関係）

機械器具調書

各「種別」ごとに最低1種類以上記入してください。

- ・「管切断用機械器具」
- ・「管加工用機械器具」
- ・「管接合用機械器具」
- ・「土工、舗装用機械」
- ・「その他 穿孔機、メタルスリーブ挿入機、水圧テストポンプ など」

日付は提出日

令和〇〇年〇〇月〇〇日現在

種別	名称	型式・性能	数量	備考
管切断機器	エンジンカッター	φ13～φ150 塩ビ管・鋳鉄管	1	
	高速カッター	電動用	1	
	金ノコ		3	
管加工用機器	電動ネジ切り機	15A～50A	1	
	手動ネジ切り機	15A～20A	1	
	モンキーレンチ	15A～50A	5	
	やすり		3	
接合用機器	パイプレンチ	15A～50A	2	
	ラチェットレンチ	～1.2m	2	
	トーチランプ	ガソリン用10	2	
工事車両	バックホウ	PC-03 PC-10	2	
	ダンプ	2トン積み	1	
	トラック	0.75トン積み	2	
転圧機械	ランマー		1	
その他	穿孔機		1	
	コア挿入機		1	
	水圧テストポンプ	電動	1	
	水圧テストポンプ	手動	1	
	圧着器		1	

調書にある機械器具については写真を添付してください。

- ・写真はA4の用紙に印刷するか、A4の工事用写真ファイルにて提出し、機械器具の名称も記入してください。

(注) 種別の欄には「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

指定工事事業者 申請書提出時点 従業員名簿

役員も記載してください。

従業員の名前(申請書提出時点の全ての従業員)及び 当該給水区域外で給水装置工事の主任技術者選任など		
フリガナ 氏名	主任技術者資格の有無 主任技術者免状の交付番号	当該給水区域外での選任の有無 事業所の所在地
スイウ タロウ 水道 太郎	有 <input checked="" type="radio"/> 無 第 123456 号	有 <input checked="" type="radio"/> 無
スイウ ジロウ 水道 次郎	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 第 号	有 無
カシマ ハナコ 鹿島 花子	有 <input checked="" type="radio"/> 無 第 112233 号	<input checked="" type="radio"/> 無 ◇◇市水道事業
オオノ サブロウ 大野 三郎	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 第 号	有 無
スイウゴロウ 水道 五郎	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 第 号	有 無
カシマ ロクタロウ 鹿島 六太郎	有 <input checked="" type="radio"/> 無 第 5566 号	<input checked="" type="radio"/> 無 △△市水道事業
カシマ ナナコ 鹿島 七子	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 第 号	有 無
	有 無 第 号	有 無
	有 無 第 号	有 無
	有 無 第 号	有 無
	有 無 第 号	有 無
	有 無 第 号	有 無

多数の従業員が居る場合は、給水関係に従事する方の記載をお願いします。

指定給水装置工事事業者指定申請及び更新時確認書

氏名又は名称 株式会社 ○○水道
 郵便番号・住所 〒314-○○○○ 茨城県鹿嶋市○○1丁目2番2号
 代表者氏名 代表取締役 水道 太郎
 電話番号 ○○○-○○○-○○○○
 電話番号（夜間対応） ○○○-○○○○-○○○○

代表者印(丸印)

代表者印

1. 下記の夜間対応 可 の場合には、
 () 夜間対応の電話番号を記入してください。 工事事業者講習会の受講実績

直近の受講年月日	年 月 日 ・ 未受講
未受講の場合 その理由（非公表）	記入不要です。

2. 指定給水装置工事事業者の業務内容

営業概要	休業日	<input type="checkbox"/> 土曜 <input checked="" type="checkbox"/> 日曜 <input checked="" type="checkbox"/> 祝日 <input checked="" type="checkbox"/> その他（年末年始・お盆期間） 該当するものに✓を入れてください。その他はその内容を記入してください。
	営業時間	8時00分 ~ 17時00分（夜間対応 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可） 可・不可のいずれかに✓を入れてください。
対応工事種別		配水管からの分岐 ~ 宅内第一止水栓（新設・改造） 本管～止水栓までの工事及び漏水等の修繕工事ができる場合には○をしてください。 宅内第一止水栓 ~ 宅内給水装置（新設・改造） 宅内の新設工事及び改造・修繕工事ができる場合には○をしてください。
漏水修繕対応	対応の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ 不可 可・不可のいずれかに○をしてください。
	対応時間	8時00分 ~ 20時00分（夜間対応 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可） 可・不可のいずれかに✓を入れてください。
	対応工事種別	屋内給水装置の修繕・埋設部の修繕 その他（ ） 該当するものに○をしてください。

鹿嶋市内の漏水修繕が
対応できるかの可否

夜間対応 可 の場合
営業時間外(何時まで対
応可能か)記入してくださ
い。

漏水修繕対応が
可の場合、対応時間・対応工事種別等を記入してください。
不可の場合、対応時間・対応工事種別の記入は不要です。

3. 給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去5年以内）

水道法施行規則 第36条
 法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

4. 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施行技術の向上のために、研修の機会を確保するように努めること。

受講していない 過去5年以内に研修を受講していない場合には、□に✓を入れてください。

受講者名 (公表対象外)	研修会名・実施団体	受講年月日
水道 太郎	給水工事振興財団 e-ラーニング	令和元年8月20日
鹿島 花子	給水	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 5px;"> e-ラーニング、現地研修会で実施した場合、修了証や終了年月日が明示されたもの（主任技術者証など）の写しを提出してください。 e-ラーニングで実施した場合、受講終了時に終了年月日が表示されたその受講画面をプリントアウトしたものなどで確認可能です。 </div>
水道 次郎	自社内	
大野 三郎	自社内研修 ○○に関する業務研修	令和元年9月12日
		<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 自社内研修の場合には、研修内容を記載してください。証明の書類等は不要です。 </div>

- * 外部研修については、受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。
- * 自社内研修については、研修内容を記載してください。
- * 受講者名は、公表の対象ではありません。
- * 行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

4. 過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

2. 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施行する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。

「配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事」を施工しないため不要

過去1年以内に、本管から取出工事を施工した方がいない場合にはに✓を入れてください。

過去1年以内の工事实績がない場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか(○×を記入)		工事年度
			* 保有している資格等	
水道 太郎	○	○	講習会終了者	R 1
水道 次郎	○	○	検定会合格者	R 1
鹿島 太郎	○	×		

給水装置工事主任技術者と下記①～④の資格を保有している方を記入してください。

○下記の①～④の資格を保有している
×給水装置工事主任技術者の資格のみ

保有している資格を記入してください。
・下記の①～④の下線部分を記入
・資格を証明する書類の写しを提出してください。

*以下に示す保有資格等(下線部)を記載してください。

- ① 水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工(配管技能者、その他類似の名称のものを含む)
- ② 職業能力開発促進法(昭和44年法律64号)第44条に規定する配管技能士
- ③ 職業能力開発促進法第24条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者
(配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定)

資格を証明する書類(資格証等)の写しを添付してください。

「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施工しない場合は任意の記載となります。技能を有する者の氏名は、公表対象ではありません。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

5. ホームページ公表可否確認票

表示無	指 定 番 号		非公開	選 択 不 可
表 示 必須項目	名称 (商号)		公 開	
	所在地		公 開	
	電話番号 (夜間対応番号含む)		公 開	
表示可否 選択項目	1. 講習会受講実績 (過去5年)		<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ <input type="radio"/> 非公開	指定工事店で 選択してください
	2. 業務 内容	営業概要	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ <input type="radio"/> 非公開	
		対応工事種別	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ <input type="radio"/> 非公開	
		漏水修繕対応可否	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ <input type="radio"/> 非公開	
3. 主任技術者研修受講実績		公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開		

* 項目により、ホームページへの公開・非公開を選択

ホームページ公表の可否を、公開・非公開のいずれかに○をしてください。